別紙様式1

令和8年度　学校評価表

（　中間・最終　）

学校名　三原市立沼北小学校

校番（　11　）

a 学校教育目標	かしこく　やさしく　たくましく	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】（自校の使命）　児童の地域への愛着を育て、生きる力の基礎を育成するとともに、地域とともにある学校 【ビジョン】（自校の将来像）　児童が自分に自信を持ち、地域・保護者から信頼される安全・安心な学校

評価計画						自己評価					改善方策	学校関係者評価			
	c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月 h 達成値	2月 h 達成値	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方策	l 評価 イ	ロ	ハ	m コメント
確かな学力の育成	○基礎的・基本的な知識・技能の定着と主体的・探求的・省察的に学習する力を育てる	○基礎的・基本的な知識・技能の定着	○4月全国学テ・12月学力テストの課題を基にした授業改善 ○低学力層（50点以下）を中心に、学力補充・ドリルタイムによる基礎学力の向上	①全国学テ、学力定着調査の対全国平均 ②国語科単元テスト正答率50点以上 ③国語科期末テスト初見問題、正答率 全国平均以上	①101% ②100% ③100%										
		○主体的・対話的で深い学びの実現（児童の学び合いの充実）	○児童同士の学び合いの充実、思考につながるICT端末の効果的活用、論理的思考力の向上を図るR80の活用による「主体的な学び」、「深い学び」、「個別最適な学び」を促す授業改善 ○特に国語科で「見方・考え方」を働かせ、説明文における論理の構造を把握する力、文章の妥当性を判断し論理のおもしろさや問題点を吟味する力をつけるための、児童が「思考する」授業の創造	①「R80によって、学習内容について考えを深めることができた」肯定的回答児童割合 ②「国語科説明的文章の読解で「見方・考え方」を働かせる授業展開を実施している」肯定的回答教員割合 ③「分からないことや、知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え工夫している」肯定的回答児童割合	①80%以上 ②100% ③85%以上										
豊かな心の育成	自信（チャレンジ）と他者と関わりあう力、自分を律することのできる児童の育成	○自分のよさに気づき新たな目標に向かう児童、他者と関わり合いながら共に伸びる児童、自分の意思で正しい選択・行動ができる児童の育成	①②挨拶を核にした「沼北5」の徹底を図り、「自信（チャレンジする心）」、「関わり合う力」、「自分を律する」ことのできる児童を育てるための取組実施 ③様々な活動や行事に目標を持たせ達成感を味わわせ、児童全員が「ほかほかの木」を月2枚以上書く	①「自分から進んで挨拶をしている」肯定的回答児童割合 ②保護者・学校運営協議会委員アンケート「児童は挨拶をしている」肯定的評価割合 ③「自分にはよいところがある」肯定的回答児童割合	①93%以上 ②87%以上 ③85%以上										
		○地域の文化や伝統に誇りをもち、感謝する心の育成	①コミュニティスクールを活用し、地域人材・地域資源を活用した学習を各学年3回以上実施し、地域への愛着・感謝の心を育成 ②地域人材・地域資源を活用した学習から、自分達が地域のためにできることを模索	①「地域のことをよりよく知り、愛着を深めることができた」肯定的回答児童割合 ②「地域をよくするために、何かしたいと思う」肯定的回答児童割合	①92%以上 ②80%以上										
健やかな体の育成	運動に親しみ、健康の保持増進に努める主体的な態度と判断力を養う	○運動に親しみ、体力を高めようとする態度の育成 ○体力アップのための取組の充実	①本校の体力課題を明確にし、単元に合わせて「ACP」を実施（水泳・体育参観日時期を除く） ②「走力」を高める朝ランニングを週2回実施 ③体育の授業や縦割班活動、学級レクによって運動の楽しさを知り、自ら進んで運動に親しむ児童を育成	①児童の体力・運動能力が全国平均を上回った種目数（8種目中4種目） ②50m走の記録がアップした児童（上半期は前年度との比較、下半期は上半期との比較） ③「運動することが好き」肯定的回答児童割合	①100% ②80%以上 ③90%以上										
		○自らの健康を保持・増進しようとする態度の育成	○心身ともに安全で健康に過ごそうとする態度を育成する取組の推進 ○自分自身の生活習慣の改善を自分事としてとらえ判断し行動選択していく児童の育成	①毎日2回以上歯磨きをしている児童 ②生活ふり返り週間中に、目標を児童自ら決定し、達成することができる児童割合 ③自分の決めた量の給食を残さず食べている児童割合	①93%以上 ②85%以上 ③85%以上										
信頼される学校	家庭・地域との連携を大切にし、安全・安心な学校、信頼される学校を創造する	○CSを核とした地域と学校の連携・協働、そして地域の力を活用した学びの推進	①地域、（CS）、保護者との綿密な連携、働きかけにより、協力体制を構築 ②「学校だより」「トピックス」を活用し、児童の成長や教育活動の様子を積極的に地域・保護者に発信	①学校運営協議会委員アンケート「よい学校にしようと頑張っている」、「地域を愛する子どもを育成しようとしている」、「地域と一体となった教育活動を進めている」肯定的評価割合 ②「沼北小学校で学ばせてよかった。」肯定的回答保護者割合	①100% ②90%以上										
		○業務改善を進め、協働して課題解決に向かう教職員集団の確立	①担任一人では対処困難な児童への対応を、管理職を含む複数対応の確立 ②校務DXを活用した全教職員による業務改善の実施	①「心理的安全性のある職場づくりを心がけている」肯定的回答教職員割合 ②職員の1か月の在校等時間の総時間から条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間の平均が45時間以内	①100% ②100%										

本年度の重点目標については◎印で示す。

【j：自己評価　評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60

【l：学校関係者評価　評価】
イ：自己評価は適正である。　ロ：自己評価は適正でない。
ハ：分からない。